

平成30年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 7番 軍司 俊紀
2. 6番 海老原作一
3. 3番 永瀬 洋子

印西地区環境整備事業組合議会

## 議席7番 軍司 俊紀 議員

### 【質問1】 廃棄物処理施設整備計画について

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく廃棄物処理施設整備計画について、2018年度から2022年度を計画期間とする新たな計画が、6月19日に閣議決定されました。

新計画は、従来から国が取り組んできた3R・適正処理の推進や気候変動対策、災害対策の強化に加え、地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設の整備について強調しています。

また、人口減少等、廃棄物処理をとりまく社会構造の変化に鑑み、廃棄物処理施設の適切な運営に必要なソフト面の施策についても記載を充実しています。

次期中間処理施設整備を進めようとする組合はこの計画について、今後どのように向き合っていくのでしょうか。

組合では今後、どのような対応をとっていきますか。

### 【質問2】 次期中間処理施設整備事業について

(1) 地域振興策基本計画が3月に策定されましたが、現在の進捗はどうなっているのでしょうか。

(2) 施設整備基本計画も3月に追加策定まで完了しているようですが、平成31年度以降に予定されている「基本設計（発注支援業務）」にむけた作業はどこまで進んでいるのでしょうか。

(3) 用地測量、買収の進捗はどうなっていますか。

(4) 埋蔵文化財調査の現地調査は平成30年度で完了しますか。

### 【質問3】 事業系ゴミ対策について

事業系一般廃棄物は事業所から排出されるごみでありながら、統括的な処理責任は印西地区環境整備事業組合に存すると聞きます。

その適正処理や減量の推進をめぐっては、組合が域内の事業者には排出者責任を意識させることはもとより、組合が許可を与えた一般廃棄物処理業者の取組も重要になる。組合では現状そして今後、事業系ゴミ対策にどのように取り組んでいくのでしょうか。



**議席6番 海老原 作一 議員**

**【質問1】施設解体事業と基金について**

- (1) 新中間処理施設稼働後の旧施設の解体に関する財源の確保について
- (2) 組合債の起債について基本的な考え方について
- (3) 特定目的基金の創設について

**議席3番 永瀬 洋子 議員**

**【質問1】次期中間処理施設整備事業について**

- (1) 用地買収の進捗状況について
- (2) 30年度の事業である埋蔵文化財調査について
- (3) アクセス道路関連について
- (4) 3月11日に「基本計画追加策定（案）、地域振興策基本計画（案）」の説明会がありました。その後、どのような動きがありますか。

**【質問2】30年度では、ごみ処理基本計画検討委員会が設置され、ごみ処理基本計画が改訂されるとのことですが、ごみの減量化に向けて以下をお尋ねします。**

- (1) ごみ回収時に分別ができていない等のルール違反のごみはどのくらいありますか。その対処について。
- (2) 事業系ごみが増えているとのことですが、その対処について。
- (3) 不法投棄されたごみを、行政や市民が回収しますが、年間どのくらいありますか。
- (4) 資源ごみは直接、業者に行くとのことですが、不燃物ごみはどのように選別するのですか。
- (5) ごみ減量の決め手は有料化にあるともいわれますが検討はどこまでされていますか。